

第1回 地域健康生活支援セミナー

5/16(日)
13:30~
参加無料

この夏、薬局が 市民の健康を守る！

薬局従事者のためのWEBセミナー

毎年、梅雨明けから夏にかけて熱中症患者の搬送が急増するシーズンを迎えます。2020年の夏は全国で64,869人(2020年6~9月・総務省消防庁集計)が熱中症で搬送されました。

医療機関が新型コロナウイルス患者の対応に追われるなか、こうした搬送が急増すると未曾有の医療崩壊を招く恐れも孕んでいます。

熱中症は予防効果が大きいため、理論上ではしっかりと予防することで発生を防ぐことができる疾患です。

薬局としては、専門家としての役割で地域生活者の健康を守るために正しい情報提供を行いたいところです。

また、新型コロナウイルスの感染拡大は患者の受療行動にも大きな変化をもたらしました。

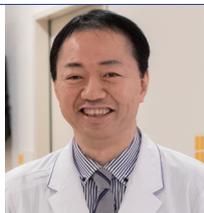
薬局業界はこのパラダイムシフトにどう対応していくべきか。

変化の時代を乗り越えていくための情報をお届けします。

演題・演者

1 谷口英喜 医学博士

済生会横浜市東部病院
患者支援センター長 兼 栄養部部长



「脱水症・熱中症の対策と対処
～地域の薬局はどのように指導すべきか?～」

2 狭間研至 医学博士

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長
一般社団法人日本在宅薬学会 理事長



「新型コロナウイルス感染症で変わる薬局・薬剤師の
あり方 ～CIPPSを乗り越える3つのポイント～」

対象

薬剤師・登録販売者・管理栄養士など、特に医療福祉に従事する専門職
薬科大学・薬学部の学生

趣旨

地域生活者に向けた健康支援の一環として「脱水症・熱中症」の対処法を学ぶ

方式

リアルタイム配信によるオンラインセミナー (Zoom)

開催予定

5月16日(日) 13:30~15:00 (配信時間90分)

参加
無料

お申込はこちらから

<https://ahlslab.com/>

